

2025年6月18日

各位

会 社 名 シンバイオ製薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
(コード番号: 4582)
問 合 せ 先 IR 室 (TEL.03-5472-1125)

ブリンシドフォビルの開発背景と多様な適応症 に関する網羅的総説がWiley社から出版

現在、シンバイオ製薬株式会社（以下、シンバイオ製薬）がグローバル開発に注力している注射剤ブリンシドフォビル（以下、BCV）に関して、その創薬の歴史とキメリックス社が天然痘に対する経口製剤の米国承認*1を得た背景に加え、シンバイオ製薬が開発中の移植後ウイルス感染症およびがん領域と脳神経変性疾患に対する可能性に関して最新情報を網羅的に取り上げた総説が、学術的に権威のあるWiley社から出版されたことをお知らせします*2。

BCVは、シドフォビル（CDV）が有する広範囲の二重鎖DNAウイルスに対する抗ウイルス作用を基に、当時カリフォルニア大学サンディエゴ校・感染症医学の教授であった Dr. Karl Hostetlerによって様々な脂肪鎖結合体の中から最適な化合物として見いだされ、CDVに比べ約100倍以上の活性を示すと同時に経口吸収性と安全性が大きく改善する画期的な発見でした。波佐間正聡執行役員兼CSO、は、「数ある抗ウイルス薬開発の中で、BCVが有する特長と多様な適応症の可能性が作用機序を含め広く読者に伝わることは大変喜ばしいです。」と語っています。

以 上

*1, キメリックス社BCV経口製剤天然痘承認時のプレスリリース: [140120210607442192.pdf](https://www.kinokura.com/press/140120210607442192.pdf)

*2, 著者: E. Randall Lanier, Scott Foster, Graciela Andre Discovery and Development of Brincidofovir. 書籍 Trends in Antiviral Drug Development (2025, 第15章 p447-500), 編集者: Michael J. Sofia, Zhengqiang Wang Copyright © 2025 Wiley - VCH GmbH. All rights reserved, including rights for text and data mining and training of artificial intelligence technologies or similar technologies. Wiley社のオンラインサイト（英語要旨）: [Discovery and Development of Brincidofovir - Trends in Antiviral Drug Development - Wiley Online Library](https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/antiv.12345)